

宗教部
ガイドブック

平成 29 年度



ご入学おめでとうございます

本学は仏教、とくに親鸞聖人のみ教えを建学の精神としています。

これから始まる学生生活において、知識の習得だけではなく、豊かな心と温かい人間性を培って、実りあるものにしていただきたいと思います。宗教部では、そうした建学の精神の体得、宗教的教養を深めていただきたく、さまざまな機会と場を提供しています。

今年度の宗教部の活動を紹介します。皆さんも計画を立てて、宗教部の行事に積極的に参加してください。

申し込みの際は、学内掲示板・Webを確認して下さい。



行事案内

4月

4月5日(水) 新入生本願寺参拝

西本願寺御影堂に新入生が集い、入学の喜びと大学生活への新たな決意を誓います。堂内が希望に輝く元気な顔々で溢れます。仏前での入学式に次いでの本願寺参拝は、新入生にとっては初めての経験です。本学に学ぶ深い縁を思い、この感銘を大切に心に刻んでおいて下さい。



4月7日(金)～8日(土) 花まつり

釈尊(ゴータマ・シツダルタ)が誕生されたのは、今からおよそ2500年前の4月8日、ルンビニーの花園でのことでした。その日を「花まつり」(灌仏会)として、お祝いします。

みなさんもお釈迦さま(誕生仏)に甘茶をかけてお祝いしましょう。



5月

5月20日(土)

親鸞聖人降誕会

親鸞聖人のご誕生をお祝いする礼拝の式典が大学体育館で行われます。荘厳な雰囲気^{らいはい}に記念演奏などを盛り込み、華やか^{らいはい}な式典、記念演奏・記念講演の後、聖人ゆかりの地へ聖蹟巡拝(バスツアー)を行います。



6月

6月3日(土)～4日(日)

一泊研修会「坐禅と写経」 (比叡山居士林)

私たちの日頃の生活を見つめなおす、坐禅・写経を体験します。きびしい中にも温かい指導をうけ、比叡山の山肌^{らいはい}にいだかれて心静かに過ごすひとときです。



南能舞台前

6月28日(水)

本願寺書院・

飛雲閣拝観(前期)

絢爛華麗な桃山文化の粋を集めた書院、金閣、銀閣とともに『京の三閣』と並び称される「飛雲閣」、伏見城の遺構である「唐門」等、国宝の数々を拝観します。

8月

8月中旬～下旬 (宗教教育部)夏期巡回(奈良県)

国内各地の寺院を訪問し、日曜学校の子ども達に人形劇や影絵、楽しいゲームの数々を持って巡回します。

汗だくになって子ども達と共に、大興奮の日々を過ごすことは、貴重な体験になることでしょう。



9月初旬～中旬 宗教教育海外研修会(韓国<予定>)



宗教的見地から国際的視野を広め、知識を深めるとともに、寺院・史跡をはじめとする各地の見学や、現地での研修を通して仏教をより深く理解することを目的として年2回、海外研修会を実施しています。

10月

10月25日(水) 本願寺書院・ 飛雲閣拝観(後期)

さわやかな秋の午後、春とはまた異なる風情漂う書院・飛雲閣を拝観します。



飛雲閣

11月

11月1日(水) 秋の見学会 (バスツアー)

秋空のもと、少し遠くのお寺まで足をのぼしませんか？貸し切りバスで快適です。



昨年度実施：石山寺（滋賀県）



11月11日(土) 学園報恩講

私達にみ仏の教えを伝えてくださった親鸞聖人のご命日(1月16日)にあたって、聖人のご苦勞をしのび、報恩感謝の気持ちを新たにするために行われる行事です。



11月29日(水) 卒業回生の合同礼拝

卒業回生は、11月が本学での最後の礼拝となります。毎年著名な講師を招き、感銘深いお話を頂戴します。

12月

12月5日(火) 心の学園記念日

表彰風景



貞明皇后（大正天皇の皇后）が、大正13年12月5日に本学園に行啓された際に、いただいたお言葉により、以後本学を「心の学園」とよぶようになりました。この日を「心の学園記念日」とし、式典が挙行されます。引き続き「宗教・文化研究所懸賞論文」の表彰式が行われます。

12月16日(土) 仏前成人式

成人を迎えた在学生の皆さんをお祝いする式典がキャンドルサービスによって厳かに行われ、その後、記念講演と祝賀会が開催されます。



キャンドルサービス



立食パーティー

2月

2月上旬～中旬 宗教教育海外研修会 (ベトナム・カンボジア)



3月

3月14日(水) 卒業生本願寺参拝・^{ききょうしき}帰敬式

卒業式を前に本願寺御影堂に参拝をし、無事に卒業の日を迎えることの報告をさせていただきます。

その後、希望者を対象に帰敬式*が執り行われます。受式後は法名の伝達を受け、名誉学長よりあたたかい激励のお言葉を賜ります。



*帰敬式とは、み仏の道を歩むことを誓う入門式としての儀式のことで「おかみそり」とも言い、受式者には「法名」が与えられます。

法名とは、仏法に帰依し、お釈迦様の弟子となったものの名前で、浄土真宗本願寺派ではお釈迦様の弟子であることを意味する「釈」の字を冠し、これに2文字を加えて「釋〇〇」と名づけられます。法名は仏弟子として仏の教えを聞いて生きていく者のあかしであり、生前にいただくものです。

平成 29 年度 宗教・文化研究所公開講座

受講料無料

事前の申し込みは不要です。
直接会場へお越しください。
学生の皆さんも自由に聴講できます。

6月17日(土) 宗教・文化研究所公開講座① 〈シリーズ 東山から発信する京都の歴史と文化⑱〉

講師／豊田 裕章 氏 (京都大学人文科学研究所共同研究員)

上横手雅敬 氏 (京都大学名誉教授)

時間／13:00～17:00

場所／B501 (予定)

9月16日(土) 宗教・文化研究所公開講座②

講師／三浦 真証 氏 (本学非常勤講師)

黒田 義道 氏 (本学准教授)

時間／13:00～17:00

場所／礼拝堂 (A校舎5階)

10月28日(土) 仏教文化公開講座

講師／松尾 宣昭 氏 (元龍谷大学文学部教授)

時間／13:00～15:30

場所／礼拝堂 (A校舎5階)

月例礼拝について

学生時代に、宗教的視点をもって自己をふりかえり、人生をみつめなおす時間をもつことは大切なことです。将来どのような専門分野に進んでも、その専門性を本当に活かすためには、自分自身のあり方が問われてきます。

そのため本学では、宗教的情操を培うことを目的として、1回生と3回生の前期3回、後期3回礼拝の時間を設けています。仏前での法要に参加し、講話などを聴講して自分自身と向き合う機会としましょう。



◇概要

- ・ 仏前で行う行事を「**礼拝**（らいはい）」と呼んでいます。
- ・ 「**仏教学**」の時間に、月に一度**礼拝堂**（A校舎5階）で行います。
- ・ 新聞「**芬陀利華**」で必ず日程を確認してください。
- ・ 礼拝の時間には、聖典入れに聖典・お念珠を入れて持参してください。

◇礼拝堂での注意点

- ・ 静粛にしてください（携帯電話の電源は切ってカバンの中にしめてください）。
- ・ 飲食は禁止です。
- ・ 帽子、コートは脱いでください。
- ・ 荷物は机の上に置かず、席をつめて座ってください。
- ・ 礼拝中の出入りは原則禁止ですが、やむを得ない場合は、一番後ろのドアを利用してください。



◇ 「礼拝」の作法（『聖典』 p.142 参照）

・合掌・礼拝のしかた

礼拝の時間には、まず本尊の阿弥陀如来に向かい合掌・礼拝します。何れも阿弥陀如来の教えを仰ぐ私たちの心持ちを形にしたものです。

- ・合掌する時には、両手に念珠をかけ、親指で軽く押さえます。その際に口に「南無阿弥陀仏」と称えます。発音は「なもあみだぶつ」「なんまんだぶ」などいろいろあり、それぞれが自分の称えやすい音で自由に称えます。
- ・礼拝は合掌をしたまま上体を45度ほど前にかたむけてから、ゆっくりと元の姿勢に戻し、合掌した手を解きます。



- ・聖典を開く時は、胸前で聖典を持ち、^{ひたい}額の高さまで持ちあげ、いただいてから開きます。
また、閉じる際も同じく、聖典を閉じてから丁寧にいただきます。



・念珠・聖典

仏前に礼拝するときには、必ず念珠（数珠（数珠）とも呼びます）を持ちましょう。合掌をしない時は、左手の親指と他の四指の間にかけて持ち、親指でかくくにぎります。房は下にたらしめます。念珠と聖典は、仏のみ教えを聞く私達にとって、大切なものですから、ていねいに取扱い、畳の上や床の上等に直接置かずに膝の上や念珠袋、机の上に置くようにします。



・焼香（『聖典』 p.144 参照）

仏前でお香を焚き仏を敬う作法です。崇高な香りの香を焚くことにより、厳かな宗教的環境を整え静かに仏の教えに耳を傾けることができます。

・お焼香の仕方

お焼香をするときには、

- ・まず香炉の前に進み出て一礼し、香盒（お香の入れ物）のふたをとって右端にかけます。
- ・お香を一回だけつまみ、いただかずに香を香炉に入れ、ふたを戻します。
- ・阿弥陀如来にむかい、合掌・礼拝をします。
- ・最後にもう一度一礼をして元のところにかえります。



いただかない





・**三歸依**（『聖典』左から開いて p.15 参照）

仏の教えを聞く者の誓いです。仏教徒は仏（さとりを開いた者）と法（仏の教え）と僧（仏の教えを聞く集団）を三宝とし、その三宝にしたが順うことを誓います。三歸依は合掌したまま唱和し最後に礼拝します。

〈三歸依〉

- Buddhaṃ Saraṇaṃ Gacchāmi.
（ブツダン サラナン ガッチャーミ） = 南無歸依仏
- Dhammaṃ Saraṇaṃ Gacchāmi.
（ダンマン サラナン ガッチャーミ） = 南無歸依法
- Samghaṃ Saraṇaṃ Gacchāmi.
（サンガン サラナン ガッチャーミ） = 南無歸依僧

・**さんだんのうた**（『聖典』左から開いて p.16～17 参照）

さんだんのうたは、『仏説無量寿經』に説かれる「讚さんぶつ仏げ偈」というげしゅ偈頌（歌）を和訳したものです。阿彌陀如来（法蔵菩薩）が、その師である世自在王せじさいおう仏の徳をほめたたえ、迷い苦しむ人々をすべて救いたいという阿彌陀如来の願いを明かしたものです。礼拝では1番～3番まで唱和します。

・**念仏**（『聖典』左から開いて p.18 参照）

合掌しながら「南無阿彌陀仏」を旋律に乗せて唱和し、最後に礼拝します。

・**法語朗読**

『聖典』の中から、法語を朗読しそのお心を味わいます。1回生は『ダンマ・パダ（法句經）』を、3回生は『歎異抄』を朗読します。

- ・ 講話もしくはビデオ鑑賞

ご講師の先生に、仏教の味わいや人生について、先生の心のうちを聞かせていただきます。時には仏教に関係したビデオを鑑賞することもあります。

- ・ おんどうさん 恩徳讃（『聖典』左から開いて p.20～21 参照）

親鸞聖人が晩年にお作りになられた和讃の一首です。私たちを救おうとされる阿弥陀如来のご恩と、その教えを私たちに伝えてくださった高僧方のご恩に感謝する内容となっています。この和讃を最後に合掌しながら唱和します。

◇ 食事のことば

- ・ 食前のことば

多くのいのちと、
みなさまのおかげにより、
このごちそうをめぐまれました。

深くご恩を喜び、
ありがたくいただきます。

- ・ 食後のことば

尊いおめぐみを
おいしくいただき、
ますます御恩報謝につとめます。

おかげで、
ごちそうさまでした。



宗教部ゼミナール

宗教・人間・思想等を学習する活動として、宗教部ゼミナールを開設しています。申込みは宗教教育センター（L校舎3階）まで。

古寺を訪ねる会

顧問 もり た しんねん
森田真円

本会は、1960年代の後半、「学園紛争」の最中、学生を心配された仏教学の先生等によって、結成されました。

古寺を訪れて仏教文化に触れ、自らを見つめて、仏教の精神に目覚めることを目的としています。

先輩が楽しく案内されますし、夏には地方にも出かけます。宗教部の補助があって、拝観料は無料です。ぜひ参加してみてください。

活動時間：土曜日 活動場所：K校舎415



宗教教育部

顧問 あ べ よしひろ
阿部純宏

宗教教育部は、毎週京都市内のお寺に集まってくる子ども達と、人形劇、影絵劇、童話、ゲームなどを通して触れ合うことを主な活動としています。日ごろは龍谷大学と合同で子ども会活動を行います。夏休みには京女の学生だけで全国のお寺を巡回して、たくさん子ども達と触れ合い、そこからたくさんを学びます。



活動時間：土曜日または日曜日
活動場所：K校舎414

雅楽部

顧問 くろだよしみち 黒田義道

雅楽部は昨年度に発足した新しいサークルです。

雅楽は仏教とともに日本に入ってきた伝統音楽です。西洋音楽とはリズムにも音階にも違いがあります。演奏に使うしょう笙、ひちりき篳篥、りゅうてき龍笛は、三つで大宇宙を表します。音色を聞くと、なる



ほど、なるほど。ぜひ一緒に、大宇宙を体感しましょう！

活動時間：相談の上決定

活動場所：K415

『歎異抄』を味わう会

指導・助言 ふげんやすゆき 普賢保之

700年以上前に書かれた『歎異抄』が現代でもベストセラーになっています。それは『歎異抄』の言葉が時代を越えて今の私たちに響いてくるからでしょう。



あまり難しく考えず気軽に参加してみてください。参加者の要望にできるだけ応える形で進めていきたいと思っています。

活動時間：相談の上決定

活動場所：相談の上決定

インド・仏教探究

指導・助言 ふじい たかみち 藤井隆道

仏教は、インドの地において誕生しました。ところでインドでは、仏教のほかにもさまざまな宗教・哲学思想が生まれています。仏教は、それらの思想とときに激しく対立し、あるいはそれらの考え方を受け入れつつ生まれ、そして世界へと羽ばたいていったのです。仏教の源流を訪ねて、インド思想や仏教のテキストを読み進めて学んでゆきたいと思います。

活動時間：相談の上決定 活動場所：相談の上決定



文学作品から「子ども」を見つめる会

指導・助言 とみむら まこと 富村 誠

本ゼミナールでは、子どもと大人とのかかわりを描いた文学作品を読み合い語り合う活動を通して、「ひたすらに生き、成長する」子どもの姿と「支え励ます」大人の姿に着目していきます。教職や家庭において子どもとかわる際に必要不可欠な「こころの目の輝き」を、本ゼミナール活動を通して、豊かに育んでいきましょう。

活動時間：相談の上決定 活動場所：E 校舎 506



自然体験と環境教育の会

指導・助言 みやの じゅんじ 宮野純次

五感を通した自然体験活動をしながら、環境に対する見方や考え方、環境に働きかける実践力を共に育てます。①「京女鳥部の森」や「京女の森」など身近な里山での自然体験活動、②ネイチャーゲームなどの実践活動、③自然体験活動を実践する地域団体と連携した自然体験や環境教育活動、を一緒に実践して行きましょう。

活動時間：相談の上決定（4月から説明スタート）

活動場所：C 校舎 206



文書活動

仏教を基調とする宗教教育を学校教育の中に具体化するために、文書活動を行っています。文書活動によって、広く宗教的知識を習得します。また、情報交換によるふれあいを通して相互の深い人間関係をめざします。



栞



一筆箋



誕生はがき
全学生の誕生月に宗教部から郵送します。

新聞「芬陀利華」
年7回発行



仏教聖典と
仏教讃歌 CD



「オリジナルカレンダー」
(吊下型と卓上型)

「芬陀利華」(冊子)
新聞「芬陀利華」を年間ごとに編集したもの。

「菩提樹」(講話集)
記念講演や月例礼拝の講話を編集したもの。





京都女子大学
宗教部宗教教育センター
(L校舎3階)

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町 35 番地
TEL : 075 (531) 7074 FAX : 075 (531) 7215
E-mail : shukyo@kyoto-wu.ac.jp